

化学物質を扱う企業として、責任を持って使用・管理をしています。

取り組みの背景・理由と、私たちの考え

コニカミルタは、フィルム、印画紙、現像処理剤など、さまざまな化学物質を使った製品を生産しており、私たちの化学物質管理は、化学業界の取り組みをスタンダードとしています。例えばカメラ、レンズなどの「機械・光学分野」においても化学分野の社内基準に合わせて、グループ全体で自主管理に取り組んでいます。

私たちの取り組みの成果と、これからの目標

毎年新規採用する化学物質は、数百件にのぼっています。これらの安全性の確認は、製品開発の時点で社内専門家のリスク評価により行われています。結果はデータベースで全社に共有され、化学物質の適切な使用方法があらゆる場面で展開されています。今後も、最新の知見を積極的に取り入れ、さらなるレベルアップを図ります。

コニカミルタのルール 製品化にいたるまでに、厳しい基準で有害化学物質を排除

1 化学品のグリーン調達

化学品のグリーン調達は調査に加え、安全性の試験を実施し、確認を行います。

原材料として購入する化学品には、部品類とは異なるグリーン調達基準を設定。フィルム、印画紙、現像処理剤、トナーなどの生産における原料はもちろん、溶剤・洗浄剤などの副資材も含め、化学品の厳格な基準を適用。製造時の安全性と製品としての安全性の双方に配慮しています。

データベースへの登録物質
約20,000物質
(化学品グリーン調達)

化学品を含めたグリーン調達のしくみ



2 お客様の安全を守るために、製品から有害な化学物質を排除するシステムを構築しています。

化学物質のリスク評価を行う「安全性確認システム」は、製品アセスメントの中に組み込まれたコニカミルタ独自のシステムです。製品の中に新成分を配合する場合、まず開発企画段階で禁止・制限物質(約1500物質)を排除、さらに各段階で安全性試験を繰り返して危険・有害物質をふるい落とし、リスク評価基準をクリアした物質だけを採用しています。

安全性確認システム



「有害化学物質の自主的削減」のための取り組み

さらなる安全管理のため、優先削減物質を設定しています。

グループ全体で使用している化学物質の中で、有害性と使用量から現在リスクが高いと判断されるものを優先削減物質とし、1997年より自主的に目標値を決め、開発・プロセス設計・製造までの現場が連携をとりながら削減に取り組んでいます。

化学物質総合安全管理計画(マスタープラン)

2003年度からは、新たに設定した目標に対して削減を進めています。

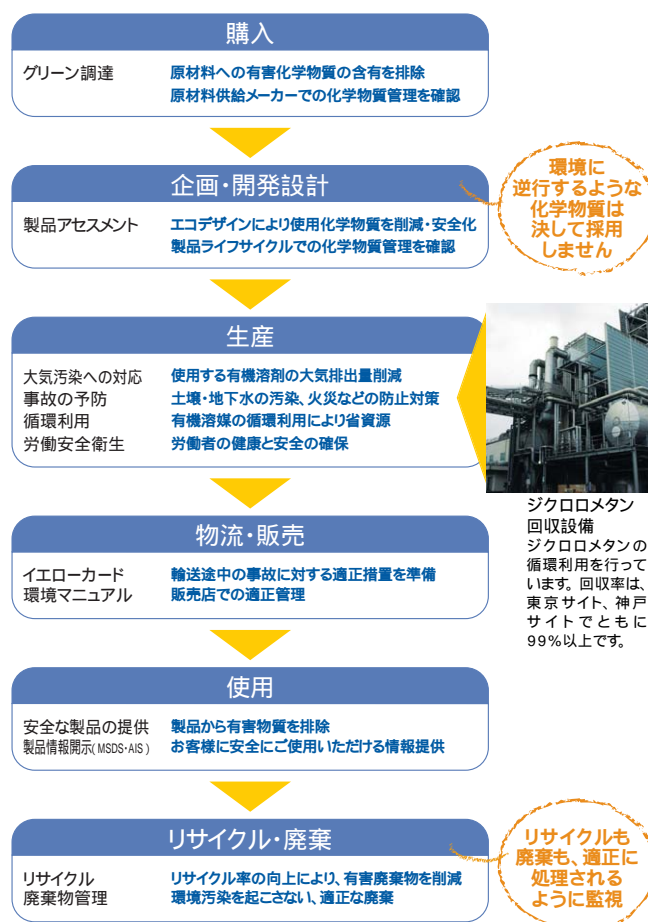
使用量削減目標		大気排出量削減目標	
ベンゼン	2003年度 全廃達成	ジクロロメタン	2006年度 総排出量:120t
ホルマリン	2004年度 全廃	酢酸エチル	2006年度 総排出量:165.5t
RoHS対象重金属 (Pb,CrⅢ,Cd,Hg)	2005年度 全廃	メタノール	2006年度 総排出量:50t
クロロホルム	2010年度 全廃	メチルエチルケトン	2005年度 総排出量:22t
1,2-ジクロロエタン	2010年度 全廃	DMF	2004年度 排出全廃

「レスポンシブル・ケア」に基づく取り組み 製品のライフサイクルにおける 化学物質の総合管理を行っています。

コニカミルタの化学物質管理は、化学業界の「レスポンシブル・ケア」の考え方に則っています。数多くの化学薬品を使うサイトでは、化学物質による事故防止、大気汚染防止・水質保全が何事にも優先される使命です。また、お客様に適正に使用していただくため、写真現像所、病院でのレントゲンフィルムの現像などに対し、お客様への情報提供にも注力しています。

Responsible Care = 責任ある配慮: 化学物質の全ライフサイクルにおいて、自主的に環境・安全・健康面の対策を行う取り組み

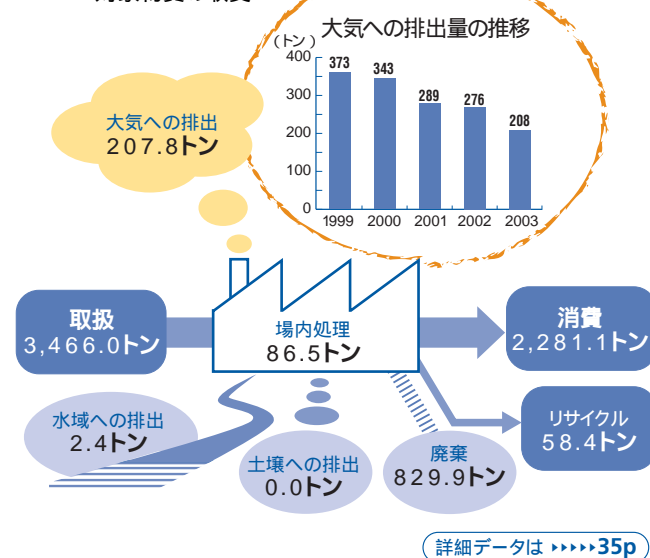
製品のライフサイクルとコニカミルタの化学物質管理



「PRTR」への取り組み 化学物質の取扱いには、 地域の保全を第一に。

PRTRとは、環境汚染のおそれがある化学物質を、工場などがどれだけ環境へ排出し、廃棄物として移動させたかを登録・公表する行政のしくみです。コニカミルタでは、PRTR対象物質の削減の中でも、特に大気排出量削減に重点的に取り組んでいます。

PRTR対象物質の収支



「土壌・地下水汚染」への取り組み 土壌・地下水調査を実施し、 汚染への迅速な対策を講じます。

土壌・地下水汚染物質を使用していたサイトでは、1996年から自主的に土壌・地下水の調査を実施しています。2003年度、新たな汚染・拡散はありませんでしたが、これまでに汚染が判明したサイトでは浄化と監視を継続しています。



東京サイト八王子の地下水浄化装置

浄化・監視を継続しているサイト

東京サイト八王子 伊丹サイト 堺サイト 大阪狭山サイト 南海光学工業(株)
豊橋精密工業(株) コニカミルタオプトプロダクト(株)
(株)コニカミルタサプライズ 岡山ミルタ精密(株)

その他の取り組み

【MSDSとAISによる情報の伝達】

化学製品を使用していただく事業者の方に対し、製品の危険性や有害性、緊急時の応急処置などの情報を盛り込んだMSDS(製品安全データシート)を提供しています。また、化学製品以外の写真フィルムなどの材料製品は、AIS(アーティクル・インフォーメーション・シート)により情報提供を行っています。

【輸送時の事故などに備えた情報の伝達】

現像処理剤など化学製品を輸送するトラックにイエローカードを配備しています。これには、輸送中に事故が起こった場合に、適切な処置がとれるよう、応急措置や24時間体制の緊急連絡先がまとめて記載されています。

【PCBの管理】

PCB廃棄物および蛍光灯などのPCB使用安定器は、管理者、種類と台数、保管状況、表示などを明確にし、サイトごとに厳重な保管を行っています。工場を廃止したコニカセラチン(株)のPCB廃棄物は、小田原サイトへ移管しました。



毒物劇物取扱責任者の資格を取得

営業所生産の管理と同居する協力会社との連携のもと、高品質の製品を出荷するのが主な業務です。今回の資格は、仕事の合間を利用してということもあり、途中で挫折しかけたりもしましたが、努力した甲斐がありました。今後は得られた資格と自信を日常の業務にも活かしていきたいです。(コニカミルタフロンソリューションズ(株) 新潟支店 平井一男)